

ひとひと 女・男プラザで自分育てしてみませんか

ご存知ですか？女・男プラザ

緑区のプラザイースト3階に、「女・男プラザ」があります。「女・男」と書いて「ひと・ひと」と読みます。

この施設には、打ち合わせなどに気軽に利用できる団体活動室や交流コーナーがあり、情報コーナーでは図書や雑誌の閲覧、貸し出しをしています。そして、「女性の悩み電話相談」や「法律相談」など相談事業、また毎年「幼児をもつ母親のための講座」を実施しています。

今年も開催します！

「幼児をもつ母親のための講座」は、今年は9月から始まります。(詳しくは「市報さいたま」8月号をご覧ください。)

「鐘の音」編集員で昨年度受講した浅見さんと菟田さんにこの講座について聞いてみました。

自分も子どもも成長できた (浅見 靖子さん)

結婚してから社会とのつながりが薄くなり、これではいけないと思い、講座に応募してみました。

受講して変わったことは、本をたくさん読むようになり、興味をもつことが広がり、自分の時間を有効に使えるようになったことです。新聞も毎日、目を通すようになり社会の動きにも敏感になりました。

子どもも、別々の時間を託児ボランティアの方や、歳の違う子ども達と過ごすことにより、大きく成長しました。

想像した講座とは違った (菟田 由美子さん)

子どもを託児室に預けて、親子離れての2時間、講師のお話を聞き、学び、そして考え、仲間と語り合い、共感し合い、自分を育てる…想像していた講座とはまったく違い、目からウロコが落ちるような新鮮で衝撃的な内容でした。

自分は母親ではあるが、1人の女性であり、人間であり、社会的役割を持つ大人であることに改めて気がつき…考えた講座でした。



みんなで学習記録誌を作りました

参加しませんか？

一期生、二期生ともに、まだまだ、語り合いたい・学びたい・共感したい…と自主学习グループを立ち上げています。親子ともに学び・成長できる、この秋からの講座にあなたも参加してみませんか。



お互いを支え合い、学んでいます

ハイジの会代表 小出 美知

会の結成から2年目。講座を受けたことで新しい道に踏み出した仲間がいることをうれしく思っています。また、仲間と気持ちを共有できることがハイジの会の原動力です。お互いを支え合える仲間として、息長くがんばっていきたいと思っています。

ただいま活動中 ハイジの会

パートナーシップさいたま
女・男プラザの講座から誕生した
自主学习グループを紹介します。

自主学習グループ「ハイジの会」は、16年度の「幼児を持つ母親のための講座」から出発しました。幼児を持つ専業主婦たち(当時)が講座を受けたことで、自分たちができることを探して活動を始め、現在9名の会員がいます。昨年度はさいたま市からの補助金を受けることができ、身近なテーマを題材に全5回の自主講座を開催しました。

今年度は、日々自分達が感じていることを、雑誌ではなくきちんと人に伝えることを目的として、一人一テーマで話し合いをしていくことを考えています。私たちは、主婦として社会人として、社会の諸問題を学びつづけて、成長していきたいと考えています。

カレッジパートナー 大活躍

情報・資料コーナーの充実を目指して

パートナーシップさいたまでは、男女共同参画社会推進に関する図書・行政資料・雑誌・ビデオ等を収集・整理し、閲覧・貸出しをしています。

情報・資料コーナーをいっそう充実させるため、カレッジパートナーの皆さまに、いろいろ作業に関わっていただいています。



まずは打ち合わせ
「どんなものをつくらうか？」



ポスター完成!
みなさんご覧下さい!

カレッジパートナーとは…

「さいたま市女性カレッジ」平成16年度・17年度の修了者のうち、希望した12名の方をいいます。

図書の整理や選書、新着図書・資料の紹介、掲示用ポスター作成等、女性カレッジで学んだ知識を生かし、利用者の立場から工夫をこらして作業にあたっています。

Book Navi

情報・資料コーナーで貸し出している図書のご案内です。

「アダルトチルドレン・マザー <よい母> があぶない」

橋 由子著 1996年 学陽書房

本書は、娘を支配する母親について、またそれが次の世代の子育てにどのような影響を及ぼすかについて書かれている。

私自身、「完璧な子育てをしたと自負する実母」に長年苦しめ、それが我が家の子育てに影を落としていた。今、子育てに悩む人はここで今一度、実母との関係を見直してほしい。そこに思いがけない病理が潜んでいるからだ。

幼少期、母親にとっての「よい子」を演じてはいなかったか?今でも母の言葉に影響されていないか?もし思い当たるようならぜひ本書を紐解いてほしい。

母親との関係が不自然な場合、それは「病的なエネルギー」となり、次の世代に影響を受けてしまうという、さまざまな事例と共に、対処法が述べられており、非常に参考になる一冊。(藤原 早苗)

「超少子化—危機に立つ日本社会」

鈴木 りえ子著 2004年 集英社

日本は現在厚生労働省が予測した以上のスピードで少子化が進んでいる。そして遂に先進国のトップを切って人口減少社会に突入した。

1955年生まれで「少子化への対応を考える有識者会議」の委員でもある著者は、女性の視点からおもに少子化に至った原因について、いろいろな角度からデータを基に分析している。

少子化に関する多くの図書が刊行されているが、その大半は少子化が進んだ結果が及ぼす経済問題、税制問題、年金問題に主眼が置かれている。しかし本書はおもに社会環境の変化が女性の価値観、結婚観を変化させ、晩婚化から少子化に至った経緯をデータを基に解説している。

その大きな変化は自分が考えていた認識とはずいぶん乖離していたことに驚かされた。(岡本 精文)

施設のご案内

	パートナーシップ さいたま	女・男プラザ
場所	大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センター プラザ3階	緑区中尾1440-8 プラザイースト3階
開館 時間	平日 9:00~21:00 土・日・祝日 9:00~17:00	9:00~17:00
休館 日	第4日曜日、年末年始	月曜日、年末年始
施設の利用	男女共同参画の推進を目的とする活動に、ご利用ください。 (パートナーシップさいたまの会議室・プレイルームと 女・男プラザの団体活動室は、利用登録が必要です。)	
情報・資料コーナー	本や雑誌、行政資料、ビデオなどがあります。 閲覧、貸し出しができます。	
お問い合わせ	048-642-8107	048-875-9966

相談のご案内

● 女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-643-5813
月~金/10:00~20:00 土・日・祝/10:00~16:00	
女・男プラザ	☎ 048-875-9653
金/10:00~17:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎ 048-829-6129
月・火・水・金/10:00~17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎ 048-840-6132
月・水/10:00~17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎ 048-790-0158
月・水/10:00~17:00	

● 法律相談(予約制) 女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第2・第4水曜日/13:00~15:30	
女・男プラザ	☎ 048-875-9966
第1・第3火曜日/13:00~15:30	

● 心の健康相談(予約制)

専門の女性医師が相談に応じます。

パートナーシップさいたま	☎ 048-642-8107
第3日曜日/13:30~16:30	

◆相談は無料です。◆秘密は厳守します。

編集後記

今号から編集員は新メンバーになります。
5名の編集員とともにこの広報誌「鐘の音」
を編集していきます。よろしくお祈りします。
また、前号までの編集員の鈴木久美子さん、
野田義章さん、長谷川寛さん、吉岡万里子さん、
渡部裕子さん2年間ありがとうございました。

●市の主催した男女共同参画の講座に出会い、
それをきっかけにこの「鐘の音」編集員の募
集を知り応募しました。人との出会い、つな
がりを大切にしていきたいと思えます。

●専業主婦歴、母親歴共に13年。だからこそ見
えてきたもの、見えてこないものがあります。
私も学びながらそんな視点で「鐘の音」をつ
くっていかれたらいいなと思います。

●退職した現在、何らかの形で社会参加をとお願
い「鐘の音」編集員に応募しました。初回の
会議に出席したところ、男性は一人と知り少
しびっくり。男性のそして同年代の代表のつ
もりで、微力ながら編集のお役に立ちたいと
思っています。

●さいたま市に転入して4年。以前は漠然とし
た印象しかなかったが、今ではさい
たま市にすっかり魅了されています。私のキー
ワードは子育てと共働き家庭。誌面ではみな
さんの役に立つ情報を心がけていきます。今
後2年間、よろしくお祈りします。

●結婚して14年、家事育児一筋だった私ですが、
去年、「幼児をもつ母親のための講座」を受け
「念発起、編集員に応募しました。男女共同参
画を学びながら実践していきたいと思ってい
ます。

(萩田 由美子)

(柴原 早苗)

(岡本 精文)

(井澤 美恵子)

(浅見 靖子)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままで
お願いします。

(誌名「鐘の音」)
大宮の古い地名「鐘原」に建てられた「パートナーシップさいたま」から、男女共同参画推進の鐘の音
を響かせたい、その願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」Vol.9 2006年7月25日発行
＜編集・発行＞

さいたま市男女共同参画推進センター パートナーシップさいたま
編集員/浅見靖子・井澤美恵子・岡本精文・柴原早苗・萩田由美子
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町1-10-18シーノ大宮センタープラザ3階
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801
E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp
7・11・3月発行(年3回)

この印刷物は古紙の配合100%の再生紙を使用しています

R100

